

令和4年度進行管理・評価シート
太宰府市 歴史的風致維持向上計画(平成22年11月22日認定)
(最終変更 令和4年3月31日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 法定協議会及び支援連携体制について	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
2 歴史的風致維持向上地区計画の活用	3
3 歴史文化基本構想の活用	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物保存修理事業	5
2 歴史的風致形成建造物調査事業	6
3 特別史跡水城跡保存修理整備事業	7
4 特別史跡大野城跡環境整備事業	8
5 歴史の散歩道環境整備事業	9
6 どんかん道、日田街道、参詣道、 歴史の散歩道のサイン整備事業	10
7 四王寺山周辺環境整備事業	11
8 歴史的市街地の緑化推進事業	12
9 歴史的市街地の修景推進事業	13
10 四王寺山の環境保存活用事業	14
11 門前町並み保存活用事業	15
12 無形の文化財記録作成事業	16
13 太宰府市民遺産育成支援事業	17
14 太宰府発見塾事業	18
15 伝統文化普及啓発事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の防災	20
2 文化財の保存・活用	21
3 文化財の保存・活用のための普及・啓発①	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 (報道等タイトル名)	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史文化基本構想、景観まちづくり計画 歴史的風致維持向上計画の連携	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
法定協議会及び支援連携体制について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 太宰府市の文化財保護担当部署は教育委員会文化財課であるが、平成21年度に建設経済部(現:都市整備部)都市計画課に景観・歴史のまち推進係が設置された。これを契機に教育委員会と市長部局が一体となって景観・環境・観光などの分野で文化財をいかしたまちづくりを推進している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、4回の法定協議会を開催した。第1回は令和4年7月4日、第2回は令和4年8月19日、第3回は令和5年1月11日、第4回は令和5年3月29日に開催した。第1～3回では歴史的風致維持向上計画第2期計画の内容について審議した。第3回では第1期計画の最終評価についても審議し、第4回では今年度の進捗評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は、歴史的風致維持向上計画第2期計画作成のための審議を行った。来年度については、2期計画の具体的な事業計画について十分審議していきたいと考えている。

状況を示す写真や資料等



第1回歴史的風致維持向上協議会



第2回歴史的風致維持向上協議会



第3回歴史的風致維持向上協議会

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

歴史的風致維持向上地区計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容 住民の日常的な散策環境の利便性を図る散策路等の再整備、来訪者の回遊性をつくりだすサイン整備や車社に適合した施設等の環境整備などを行うとともに、歴史的風致維持向上地区計画を導入することで、維持向上すべき歴史的風致に沿った店舗・景観誘導を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

大宰府政庁跡をはじめとする史跡地への回遊性を高めるために、来訪者の休み処となるような専用店舗の立地を可能とする用途緩和型の地区計画制度として、観世音寺地区歴史的風致維持向上地区計画を平成28年7月より施行している。令和4年度も新たな専用店舗の認定はなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	制度開始以来申請は1件となっている。今後も周知は図っていくものの、専用店舗建築等については、地権者等の意向によるところが大きいため長期的な視点で観察し対応していく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

《 観世音寺地区歴まち地区計画の概要 》

太宰府市では、新しい地区計画として「観世音寺地区歴史的風致維持向上地区計画」（通称：観世音寺地区歴まち地区計画）を定めました。

本歴まち地区計画は、大宰府政庁跡や観世音寺、戒壇院などの文化遺産を活かして、観世音寺地区の回遊性を高めるため、来訪者の休み処となるような専用店舗の立地を可能とする用途緩和型の地区計画です。用途の緩和とともに、歴史的な風情を高めつつ、周辺の住宅地環境も守っていくよう、建築物や屋外広告物の形態意匠についてもルールを定めています。

対象区域内で建築物の建築等を行う場合、あらかじめ市に届出を行い、建築物等の内容が地区計画に適合しているかの確認が必要となります。



【建築物の用途の制限の緩和】

施行前



兼用住宅で、店舗面積が50㎡以内かつ延べ面積の1/2以内の店舗のみ立地可能でした。

施行後



喫茶店、うどん・そば店を主とする延べ面積150㎡以内の専用店舗も立地可能になりました。

【屋外広告物の形態意匠の制限】

施行前



大きく派手な屋外広告物も設置可能

観世音寺地区の広告物景観に合った大きさやデザインのルールがありませんでした。

施行後



住宅地と調和する大きさやデザイン

現状の広告物景観を守り、店舗が立地しても派手な屋外広告物が乱立しないようルールを定めました。



※道路境界から20mの範囲を対象とします。

【まちなみ形成のイメージ】



【問い合わせ先】

太宰府市 建設経済部 都市計画課 都市計画係
 〒818-0188 福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
 Tel: 092-921-2121 Fax: 092-921-1601

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

歴史文化基本構想の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する要素に対する理解が最も重要であることから、これらの活動に対する普及啓発に努める。特に市民一人一人が歴史的風致を構成する建造物や活動等に対する認識を深め愛情を育むために、太宰府市民遺産の取り組みを推進する。

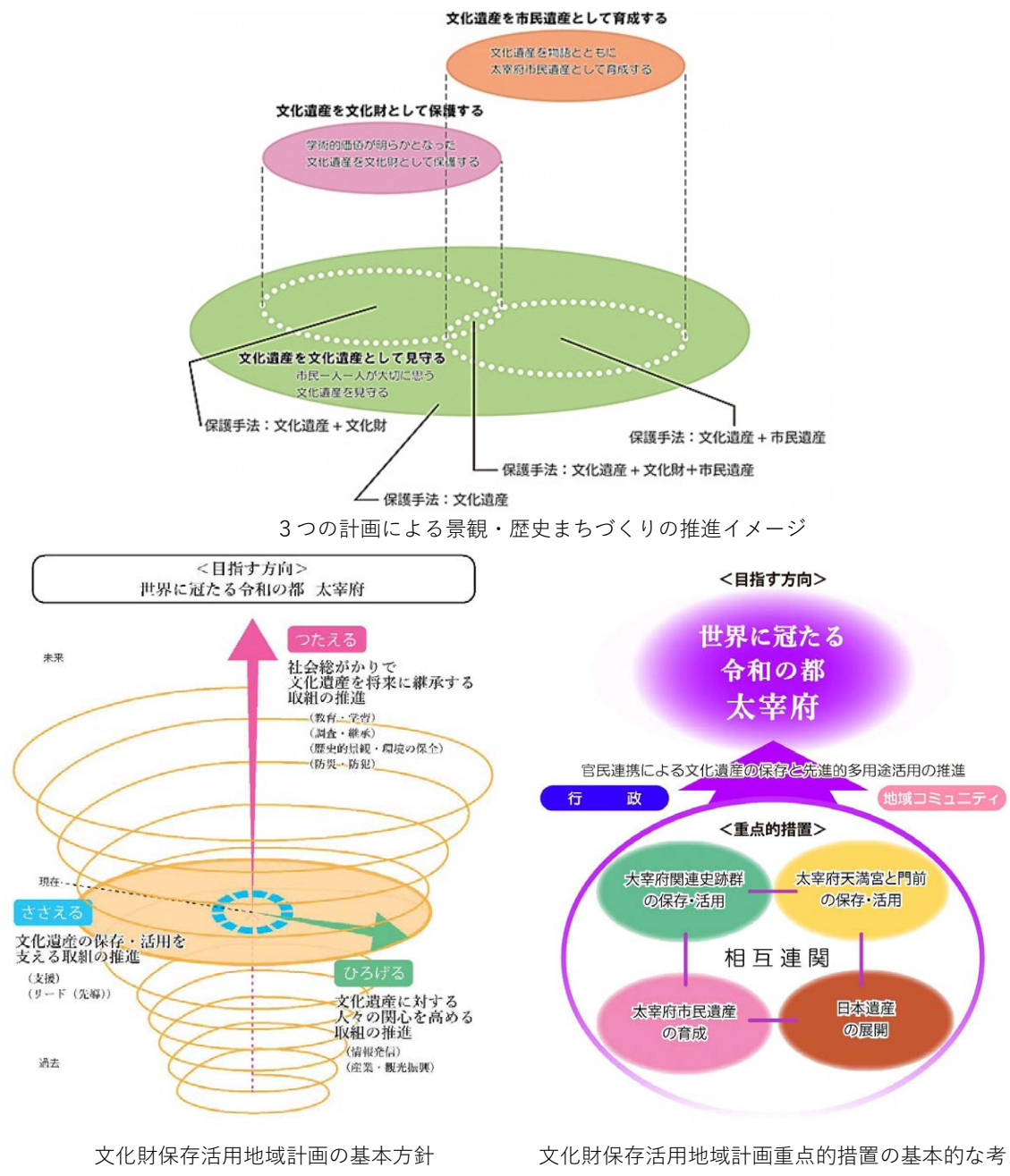
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年に策定し、これまで市民で認定する景観・市民遺産会議を開催し、17件の市民遺産を認定している。H26:1件、H27:1件、H28:0件、H29:1件、H30:1件、R01:1件、R02:1件、R03:0件、R04:1件
令和4年度には、文化財保存活用地域計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民遺産の提案・認定数が低迷し、市民によ提案に委ねられており、今後は文化財保存活用地域計画に基づき各種取り組みを実施し普及啓発していく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
歴史的風致形成建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

計画に記載している内容 太宰府天満宮門前の伝統家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建築物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理・工事等に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内にある歴史的風致形成建造物候補56件から修理に合わせ順次指定を行う。指定した物件は対象物件中37.5%の21件となっている。毎年2件の指定を行う計画としていたが、令和4年度は2件(陶山家初蔵、光明寺本堂)の修理を実施したが、光明寺本堂については想定以上の腐食が確認されたため、令和5年度にかけて修理を実施する。現時点において修理の申し出のあった建造物については全て修理を実施することができている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画では毎年2件の指定修理を想定しているが、所有者の意向に左右されるため、なかなか申請に結びつかない。また、設計協議に時間を要すると共に年末年始など天満宮門前の繁忙期に工事困難な時期があり、年度後半に工事が慌ただしく進む状況である。早期の相談・協議を進めることを、所有者に対しては周知することに努めていく。

状況を示す写真や資料等



陶山家初蔵
(修理前)



陶山家初蔵
(竣工)



光明寺本堂
(修理前)



光明寺本堂
(修理中)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、市単独費		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物保存修理を実施するにあたり、候補建造物を旧状に復する根拠としての痕跡や関係資料の調査を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度実施した調査事業はない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建造物調査については、所有者の協力なしでは実施できず、また調査実施にあたって時間を要するため、全体計画を作成し計画的に所有者と協議し、調査を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
令和4年度は事業を実施していません。			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
特別史跡水城跡保存修理整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～

支援事業名 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備

計画に記載している内容 特別史跡水城跡:調査に基づき損傷個所の修理。修景を行うとともに東門付近は地形や土塁の部分復元を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特別史跡水城跡(約10ha)について、樹木の繁茂、豪雨による法面崩壊等の自然的要因、また、人の通行による踏圧によって、土塁など遺跡そのものの劣化が進行している。このため、現状より悪化させることのないよう遺構の修理を実施し、また、環境整備を行うことで、史跡にふれる機会の充実を図る。令和4年度は、便益施設水城館が開館して6年目にあたる。来館者数は初年度の平成29年度は12,395人で、平成30年度は12,076人、平成31・令和元年度は年度末にコロナ禍の影響受けながらも12,642人と多くの方に継続的に好評を得た。その後はコロナ禍の影響が顕著となり、令和2年度は6,433人、令和3年度は5,874人。令和4年度は4月～12月までで7,409人と入館者数は少し回復傾向にある。事業は水城跡東土塁西部の樹木整理等工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	樹木整理は土塁をき損する恐れがある大木・高木を中心に剪定・伐採を行った。特別史跡水城跡は隣接する大野城市との連携を十分に図り整備を実施していくとともに、事業主体として福岡県とともに指導委員会に諮りながら実施していく必要がある。



着工前



竣工後



着工前



竣工後

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
特別史跡大野城跡環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成20年度～			
支援事業名 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備			
計画に記載している内容	特別史跡大野城跡:増長天西側及び礎石群について、順次土塁・石垣・礎石群の環境整備を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大野城跡の増長天地区では、4棟の礎石建物跡周辺を中心に環境整備事業を進めており、令和4年度は礎石建物群のわきにある平坦地に解説広場の整備を行い、園路・解説板・スツールを設置するとともに、礎石建物跡周辺の法面を獣害から保護するため植生付き防獣シートの設置工事を行い、礎石建物の礎石の劣化要因の一つにもなっている樹木の剪定を実施した。以上により、本整備事業はおおむね8割程度が完了となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業主体の福岡県や、県の整備指導委員会などと連携し、史跡保存と整備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
大野城跡増長天地区整備状況			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	令和4年度
	現在の状況
歴史の散歩道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 太宰府天満宮から水城跡までの歴史の散歩道について、景観に配慮した道路美化や附帯する防護柵などを改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史の散歩道(全長4400m)の路面改修や歴史の散歩道沿いの付帯設備(カーブミラー51基、防護柵219m)を修景することで、散策環境の向上を図っている。令和4年度はカーブミラー8基を修景し全体の15%が完了した。防護柵は6mの修景を実施し全体の82.2%が完了した。路面改修は全く行われていない。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史の散歩道の路面の劣化が目立っているが、史跡との関連や道幅や舗装の仕様など検討課題が多くあり、事業実施が遅れている。回遊性向上のため、2期計画では早急に課題を解決し重点的に事業を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



修景前

修景後

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
どんかん道、日田街道、参詣道、歴史の散歩道のサイン整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成23年度～令和4年度			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)			
計画に記載している内容	どんかん道・日田街道・参詣道・歴史の散歩道および沿道に埋め込みサイン・案内板・解説板を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致を構成する通りとその沿道にあるサイン(案内、誘導、説明)を整備し、地域住民に歴史的風致の理解を進め、また、回遊性の高いネットワークの形成を図ることを目的としている。これまで整備予定の約9割が完了し、今年度にほぼ事業が終了する予定であったが、年度初めにサインやガイドラインの見直しの検討の話が出たことから、今年度は事業を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	この事業については、予定の9割近く完了しており、予定通り事業は1期計画でいったん終了とする。わずかに残るサイン設置予定箇所については、内容精査の上、関係課事業や2期計画に反映し実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>令和4年度は事業を実施していません。</p>			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
四王寺山周辺環境整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、市単独事業

計画に記載
している内
容

四王寺山市民の森などの竹木伐採による緑地整備、休憩施設(ベンチ、四阿)、解説板の設置を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

さいふまいり遊山の地である四王寺山(特別史跡大野城跡等)の樹林について、環境整備を実施する。令和4年度も昨年度に引き続き、東観世地区で、高木伐採100本、樹木剪定3本、中低木伐採ならびに蔓切り1026.5mを実施した。
また、市民の森については、平成23年度に「四王寺山周辺環境整備計画」を策定し、「さいふまいり」と一体となった歴史的風致の維持向上のため、竹林の伐採や施設の修理、設置等を行ってきた。計画策定から10年以上が経過し利用状況や社会的状況の変化により、改めて施設の状況確認、改修・更新の必要性、緊急度等を決めていくことが必要となっている。また、今後の管理方法等を明確化することにより、持続可能な管理運営方法の仕組みを構築することを目的に令和4年度四王寺山(市民の森)環境整備計画計画策定を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

行政による大規模伐採を計画的に実施してきた。今後は事業地内で活動を行っている市民団体との連携を深め、大規模伐採後の小規模管理を行う必要がある。また、近年実施している事業地以外で、竹林が繁茂している箇所が目立ち始めているほか、イノシシ被害もひどく、年度ごとに計画の見直しを行う必要がある。また、今後は樹木管理についても、四王寺山周辺を改めて調査し、計画的に進めていく。

状況を示す写真や資料等



四王寺山(東観世地区)の環境整備



市民の森環境整備のワークショップ

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歴史的市街地の緑化推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成25年度～令和4年度			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業			
計画に記載している内容 門前・どんかん道・参詣道・日田街道といった歴史性を有する骨格的な動線は、駐車場などの増加により歴史的風致が損なわれつつあるため、緑化修景を施し、歴史的風致の周辺環境の改善を図ることで歴史的風致の維持向上に資する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から助成基準(範囲、要件、手続きなど)の設定を行い、平成25年度から運用を開始した。(H26:1件、H27:0件、H28:1件、H29:0件、H30:0件、R01:0件、R02:0件、R03:0件、R04:0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		本事業については事業を開始して以来まだ2件の申請に留まっている。沿線住民には事業内容はもちろん、通りの歴史とそれに見合った緑化について周知する必要がある。また、現代の土地利用形態に即した利用しやすい制度となるように見直しを検討する。	
状況を示す写真や資料等			

歴史的市街地緑化推進事業補助対象範囲



◇補助対象経費

市の指定する樹種の樹木の新規植栽にかかる費用を補助します。(補助対象となる経費は、苗木代のほか植栽に関わる地盤の簡単な改良、樹木を支える支柱等の必要最小限度の設備とします。)

対象樹種

太宰府市景観計画において「おすすめ樹種」に指定する万葉樹種や在来の樹木等を対象とします。

太宰府市景観計画 おすすめ樹種	
高木	△アオギリ(栲嶺) △アカシデ ▲アラカシ(樺) ▲イチイガシ(伊能比) ▲イヌマキ △イロハモミジ(鎌手) △イチヨウ △ウメ(梅) △エゴノキ(知左) △エノキ(榊) △カキノキ △カシワ(栲) △クヌギ(榊) △クリ(栗) △クワ(蓆)
中木	▲クスノキ ▲クロガネモチ △ケヤキ(榊) △コナラ(許赤良) ▲サカキ(榊木) ▲ザンカ △シダレヤナギ(榊) ▲シラカシ(白樺) ▲スタシ・ツブラシイ(榊) ▲スモモ(栗) ▲センダン(阿布知) ▲タブノキ(榊) ▲ナツメ(蓆) ▲ネムノキ(合歓) ▲ホオノキ(保宝長之梨)
低木	▲ヒノキ(榊) △マユミ(榊) △ムクノキ △モモ(桃) ▲ヤブツバキ(榊) ▲ヤマモモ ▲ヤマザクラ(榊) △ヤマボウシ ▲アセビ(馬酔木) △ウツギ(宇花) △ガクアジサイ(球状藍) △カラタチ(榊) ▲シャクナゲ ▲ツグ(黄檗) △ニワウメ(黄節)
草花	△ネコヤナギ(川柳) △ミツマタ(三枝) ▲ヤマツツシ(蓆) ▲ヤマハギ(蓆子) ▲ヤマフキ(山吹) - カキツバタ(津路種) - キキョウ(朝顔) - ショウブ(菖蒲) △テイカカツラ(津多) △ハス(蓆) △ハマユウ(武水蓆) △ヒガンバナ(蓆師) △フジ(蓆) △マコモ(許母) - ヤブソコ(蓆師)

※日本庭園をイメージし、季節感(花、実り、香り、紅葉)などにおいて好ましいものは他にも取り入れることができます。市役所都市計画課にご相談ください。

【平成26年度事業】



【平成28年度事業】



施工前



施工後

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的市街地の修景推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業		
計画に記載している内容	歴史的風致を損ねている沿道ならびに眺望景観などの景観修景を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
地元協議会にて協議を行い策定した修景基準に従って実施しているが、令和4年度については申請がなく実施したものはなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	この事業について忘れていた所有者もおり、改めて事業の目的と助成内容について周知するなど地道な普及啓発活動が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
<p>令和4年度は事業を実施していません。</p>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
四王寺山の環境保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、市単独事業

計画に記載している内容 市街地自然環境の維持及び向上に資する活動の検討および民間活動団体の育成

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

四王寺山の環境保存活動では、史跡観世音寺及びび子院跡内に所在する市民の森で活動している民間団体及び行政機関を対象に、意見交換会等を開催し、対象地を利用するにあたり各団体が抱えている悩みや問題の改善策等について話し合いを行った。また、利用者同士のネットワーク化を強固にしていく取り組みを実施した。令和4年度は3回の意見交換会を実施した。なお、集約した意見は令和4年度四王寺山(市民の森)環境整備計画へ提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	溝さらい等の小規模な手入れ作業を事業地内で活動している民間団体と連携し実施していく取り組みが一部行われている。しかし、広大な森のため、利用のみならず、多くの人たちに環境保存にかかわってもらおう仕組みを作り上げていく必要がある。併せて、大規模伐採等において事業地内で出た材木の活用方法について検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等



市民の森でのワークショップ

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
門前町並み保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成22年度～			
支援事業名 歴史的環境形成総合支援事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業			
計画に記載している内容	町並み環境の維持及び向上に資する活動の検討および民間活動団体の育成		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
「太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会」は、歴史的まちなみを維持形成するための地区のルールづくりや、建築物の修景基準の検討などを行うための協議会として立ち上げ活動を始めている。令和4年度は昨年度から制作していたホームページが完成し公開した。また、歴史的風致維持向上計画2期計画に向けて、体制の見直しや新たな課題の検討を始めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちづくりと景観について、これまで基準の作成や環境整備を実施し、初期の目的は十分達成できた。歴史的風致維持向上計画2期計画の事業実施にあたり、高齢化してきた体制を見直し活動する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



第1回総会
(6/10)



第2回総会
(11/9)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形の文化財記録作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、文化遺産を活かした地域活性化事業、市単独事業

計画に記載している内容 無形文化財・無形民俗文化財の実態調査をし、現在における詳細な記録を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗行事「竹の曲」について調査・記録作成を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 専門分野の協力者を見つけるなど、安定した調査体制の再構築が望まれる。

状況を示す写真や資料等



竹の曲(神幸式お上り)



竹の曲(本殿前奉納)



竹の曲練習風景

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
太宰府市民遺産育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成23年度～			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、文化遺産を活かした地域活性化事業、市単独事業			
計画に記載している内容	文化遺産の調査については、多くの市民ボランティアとともに総合的に把握・調査の活動を展開している。今後は、この活動を進め市民とともに文化財をその周辺環境も含めて保存活用するための歴史文化基本構想を策定し、太宰府市民遺産の取組を推進することなどにより、文化財指定の有無を問わず、文化財を守り育てることが豊かな生活につながるという市民意識の醸成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観・市民遺産会議全体会議を2回開催したことに加え、会議と啓発イベントを複合した市民遺産フェスタも実施し、「竹の曲」が新しい市民遺産として認定された。市民遺産のパネル展示を市内各施設で実施し、多くの人々に周知をはかったほか、「太宰府市民遺産ポータルサイト」およびSNSにて随時情報発信をおこなっている。また、市内小学校を対象に「太宰府市民遺産子ども絵画コンテスト」を実施し、298点の応募があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を守り育てることが豊かな生活につながるという市民意識の醸成を図るため、市民への広報普及をさらに進める必要がある。市広報誌の活用、小中高及び地元大学との連携を進めていきたい。		

状況を示す写真や資料等



市民遺産子ども絵画コンテスト



市民遺産パネル展



景観・市民遺産フェスタ2023



景観・市民遺産フェスタ2023チラシ



第2回市民遺産全体会議

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
太宰府発見塾事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成17年度～			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、市単独事業			
計画に記載している内容	太宰府の歴史・文化財・まちづくりについての連続講義を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
太宰府発見塾は、市域の文化遺産の歴史的位置づけについて専門的知識の教授を目的として、市民をはじめ広く受講生を募集し、主に講義形式で実施してきた。今年度も実施を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	太宰府を発見する講座として多くの市民を受け入れ講義を行ってきた。今後は文化財保存活用地域計画も踏まえ、市民自ら調べる、見守る行動といった自主的活動へと移行できる体制づくりが必要である。		
状況を示す写真や資料等			
令和4年度は事業がありません。			

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統文化普及啓発事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成23年度～			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)、文化遺産を活かした地域活性化事業、市単独事業			
計画に記載している内容	伝統文化に関わる普及啓発のためのイベントの開催やパンフレットなどの製作を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度から市内にある筑紫女学園大学の学生を中心に事業を実施している。太宰府天満宮門前町の文化遺産情報の収集や整理、収集した文化遺産情報の公開普及、街づくり活動の人材育成を目的に事業を行ってきた。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で実施を見送っていた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	この事業はいったん終了し、今後は民俗文化財を調査しながら、次世代につないでいくための普及啓発事業を実施を考えていく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
令和4年度は事業がありません。			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	火災に関して、日常より定期的な見回りや火元の確認などの管理を徹底するよう、所有者や管理者などとの連携を図る。また、定期的な防災訓練の実施を通じ、日常の防災意識の向上を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーの期間中に、市内の文化財保管施設を中心として、防火意識の再確認ならびに防火意識の向上を図ることを目的として、消防本部、消防署と連携し消防査察及び消防演習を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、消防演習は中止とした。令和5年1月16日～18日に、市内の文化財関係施設8か所の消防査察を行なった。また、文化財防火デーの期間中は市庁舎に懸垂幕を掲示したほか、各施設に立看板、ポスターを設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	例年、文化財防火デーに合わせ、市内にある文化財所蔵施設の消防査察を実施し、市内文化財所蔵施設2カ所にて、消防演習を実施している。引き続き文化財保存のための機器点検・防災意識向上を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			



文化財防火デー懸垂幕（市役所）



消防査察



啓発看板掲示

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存と活用について、史跡解説や文化遺産に係る市民ボランティアとともに総合的な活動を展開している。今後もこの活動を進め、市民とともに策定した歴史文化基本構想に基づき、文化財指定や太宰府市民遺産認定を促進する。このことにより文化財を守り育てることが豊かな生活につながるという市民意識の醸成を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・本市の文化財のマスタープランである法定計画としての文化財保存活用地域計画を作成し、歴史文化基本構想の後継となる計画とした。 ・市指定文化財候補1件について、文化財専門委員会で審議し、市指定文化財に指定した。 ・まるごと太宰府歴史展を実施し、文化財全般にわたる展示を実施し、普及啓発を進めた。来場者数：1508名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保存活用地域計画の進捗を管理評価する文化財保存活用推進協議会を令和5年度に設置する予定。		

状況を示す写真や資料等



まるごと太宰府歴史展の展示状況



ギャラリートーク (9/10)



まるごと太宰府歴史展ポスター



市指定文化財の新指定（「平井家瓦制作用具及び関連資料」）

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存・活用のための普及・啓発		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容 文化財の総合的把握の取組による調査が、市民ボランティアによって実施されている。ボランティアに参加している市民の間には、太宰府の文化財を自ら発見し育成する気運の高まりが見られ、今後も調査を継続するとともに、より多くの市民の参加を促す取組を行っていく。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市民ボランティアによって調査された文化遺産情報を有効活用するため整理を行いながら、新たに得られた情報の追加をし、ホームページにて公開している。
- ・文化遺産の見守りボランティア(文化遺産サポーター)を募集し、文化財保存に市民が参画できる機会を設けた。
- ・一般向けに市指定文化財観覧イベントを実施し、文化財を肌で感じてもらい、文化財保存について関心を深めた。
- ・太宰府の歴史や市内の文化遺産を紹介する展示や講座を行ったほか、絵師調査についてパネル展示会を市内各所で実施し、広報新聞のweb発行を5回行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	コロナ禍による人数制限はあるものの、文化財関連の講座やイベントに市民が参加し、生涯学習としての成果はあった。一方で文化遺産見守りボランティアの新規申込はなく、市民自らが文化財の保存・活用に参画するという展開が不十分で、市民主体とした文化財の保存・活用については、文化財保存活用地域計画をもとに検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



HP文化遺産情報



絵師パネル展



文化財観覧イベント



広報新聞「幸府画報」

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度 令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「大追跡！謎の登山ガエル」	令和4年11月27日	NHK「ダーウィンが来た！」
民俗芸能「竹の曲」太宰府市民遺産に	令和5年2月15日	毎日新聞
時論公論「文化庁京都移転 地域文化をどう支えるか」	令和5年3月28日	NHK時論公論
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>太宰府市民遺産「宝満山のヒキガエル」について、NHKで放送があり、その存在と市民遺産の周知に有効であった。また、2月4日の景観・市民遺産会議で市民遺産に認定された「竹の曲」について、新聞1社が報道した。また、文化庁京都移転に絡んで、太宰府市民遺産の取組みが紹介された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	適宜情報発信していこうと考えている。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

歴史文化基本構想、景観まちづくり計画(景観計画)、歴史的風致維持向上計画の連携

計画に記載している内容 本計画の推進にあたっては、歴史まちづくり法第11条に基づく太宰府市歴史的風致維持向上協議会を中心に、計画推進に係る事項や計画変更などの協議などを行う。事務局は事業担当課や文化財の所有者・管理者との連絡調整を行い、事業の実施や歴史的風致形成建造物の指定などで計画の円滑な推進に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

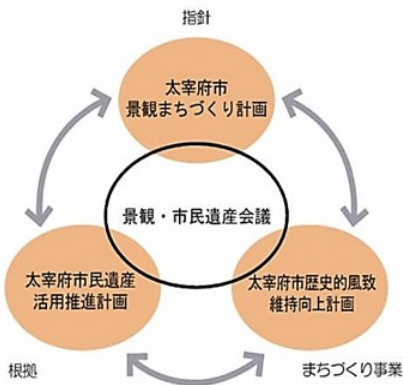
歴史文化基本構想を根拠、景観まちづくり計画(景観計画)を指針、歴史的風致維持向上計画をまちづくり事業と位置付け、それぞれを連携させている。平成29年度から、景観計画に関わる景観・市民遺産審議会と歴史文化基本構想に関わる景観・市民遺産会議の情報共有を図るため、相互に1名の委員を選び両会議に出席いただく取組を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

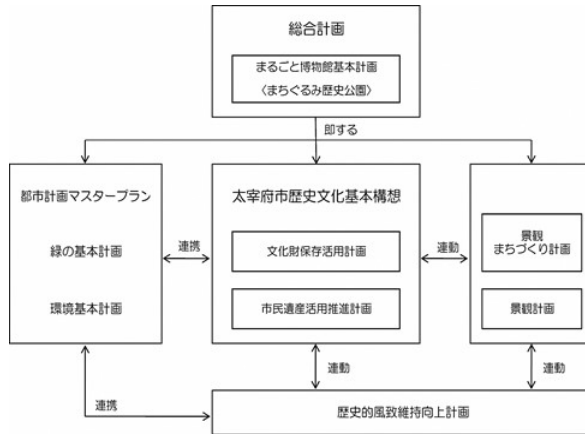
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

育成地区内における歴史を感じる景観誘導について、平成28年度から始めた歴史的市街地の修景推進事業や景観条例での届出制度から設計案の内容を見ると、関係団体への理解、意識浸透が図られている。屋外広告物については、平成29年4月1日より太宰府市屋外広告物等に関する条例を施行し、運用の中で周知徹底に努めてきた。

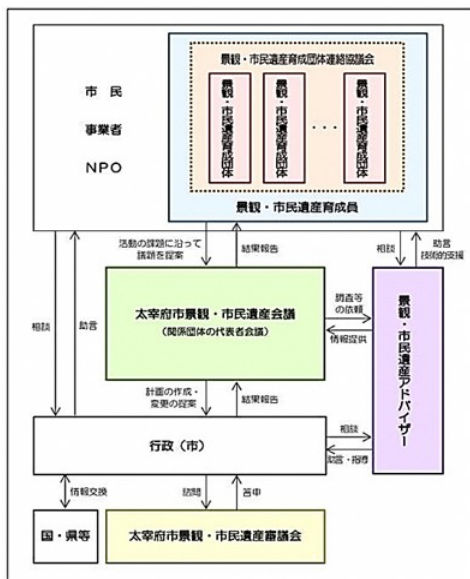
状況を示す写真や資料等



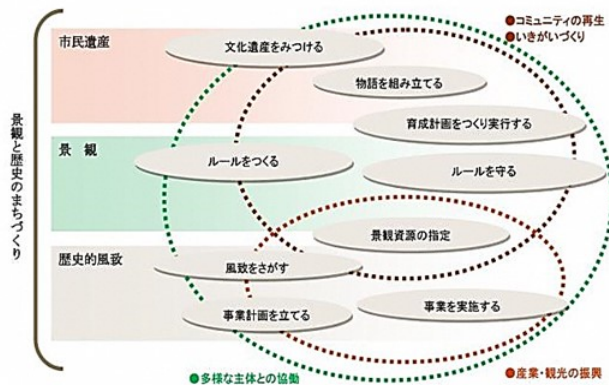
三計画の連携イメージ
(「太宰府の景観と歴史のまちづくり」から)



三計画の関係概念図
(「太宰府市歴史文化基本構想」から)



三計画推進の組織図
(「太宰府の景観まちづくり」から)



三計画の連携によるまちづくりの展開イメージ
(「太宰府の景観と歴史のまちづくり」から)

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和4年度第4回太宰府市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月29日(水)	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none">・民俗文化財については扱いが難しい部分もあるので、文化財課に民俗の専門がいないとちゃんとした事業がやっていけない。今後職員採用がある際は専門職員を採用し指導していくことを検討していただきたい。屋敷神などの有形でも調査のルールはあるし、習俗に及ぶと様々な問題があるので、市民に任せるだけには注意が必要である。・歴史的風致形成建造物調査事業についてだが、計画の事業の項目に上がっている内容について、できた・できないと書かれているが、せっかく事業を行っているので、それぞれの項目の何にどれだけ時間を費やしたとか、そこに至るまでのことを報告していただきたい。つまり、相談が何件あって、どれだけ時間を費やして、最終的にはどうなったということがあって良いのではないか。・この計画は以前から向上に関する事業はいろいろあるが、維持に関する事業が少ない。把握している建物の中から無くなって困る建物については、所有者のアクションが起こる前に働きかけを行ったり、モニタリングのような事業が必要ではないか。そうすると所有者の意識も変わってくるかもしれない。・計画の評価の部分について、KPI(業績評価指標)というものはないのか。  <p>令和4年度第4回太宰府市歴史的風致維持向上協議会の様子</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>次年度から歴史的風致維持向上計画の第2期が始まるため、継続事業についても再検討し進める必要がある。特に歴史的風致形成建造物の保存修理については、改めて所有者に事業の意義について説明しようと考えている。また、事業評価については、景観とか文化財というものが、数値で評価できづらい分野でもあるが定量的な記録の取れるようなものは数値的評価を行っていきたい。</p>	